

石破

．．． 裏

ナレーター これは、千年以上前の、瓜破辺りの地図です。

その頃、今の^{やまとがわ}大和川はなく、^{ひがしよけがわ}東除川と^{にしよけがわ}西除川という川が流れていました。

そのふたつの川に挟まれるようにして瓜破がありました。

そこは、お米や野菜がたくさんとれるたいへんよいところだったそうです。



河内湖

北
↑

↑
瀬戸内海

大阪湾

堺

瓜破

↑
西除川

↑
東除川

奈良
飛鳥

・・・ 裏

ナレーター の瓜破の人々は、屋根が草でできている草葦くさぶきの家に住んでいました。

そして毎日、田んぼや畑で一生懸命働いていました。

でもあるとき、大変なことが起こりました。

とても悪い病気がはやって村の人々は次から次へ、バタバタと倒れていったのです。



・・・ 裏

ナレーター そんなある日、この村を道昭^{どうしょう}という、とてもえらいお坊さまが通りかかりました。

道昭^{どうしょう} 「はて、そろそろ田植えの頃であろうにどこも田植えをしておらん。この村は働き者が多く米や野菜が多くとれると評判の村であるのに....。」

ナレーター 不思議に思っていると一人の娘がやってきて手を合わせていいました。

娘 「お坊さま、この村は今、悪い病気のために大変苦しんでいます。どうか、村のみんなをお救いください。」

道昭^{どうしょう} 「それは、お困りでしょう。私も今日まで懸命^{けんめい}に修行をしてきました。村の皆さんのためにお祈りいたしましょう。」



．．． 裏

村人 男 「えらいお坊さまが村の為にお祈りをしてくださるそうじゃ。」

村人 女 「さあ、元気な者は誰でもお堂造りのお手伝いをやらせてもらいましょう。」

子ども 「おいら、病気のおとうちゃんの代わりにお手伝いする。」

ナレーター ^{どうしょう}道昭さまに、お祈りをしてもらったためのお堂を^{つく}造ろうと、おじいさんも、おばあさんも、子どもも村の元気な人々はみんなで力を合わせました。

そして、大きなえのきの木の下に小さなお堂ができあがりしました。



．．． 裏

道昭^{どうしょう} 「村の人達がみんな元気になりますようにムニャムニャムニャ・…」

ナレーター お堂に入った道昭^{どうしょう}さまは毎日、毎日、一生懸命お経^{きょう}をとねえました。
何も飲まず、何も食べないのでどんどんやせていきました。

娘 「このままでは、道昭^{どうしょう}さまが病気になってしまいます。どうかこの瓜^{うり}を召し上
かってください。」

ナレーター そんな道昭^{どうしょう}さまを心配した娘さんは瓜^{うり}をふたつに割ってもってきました。

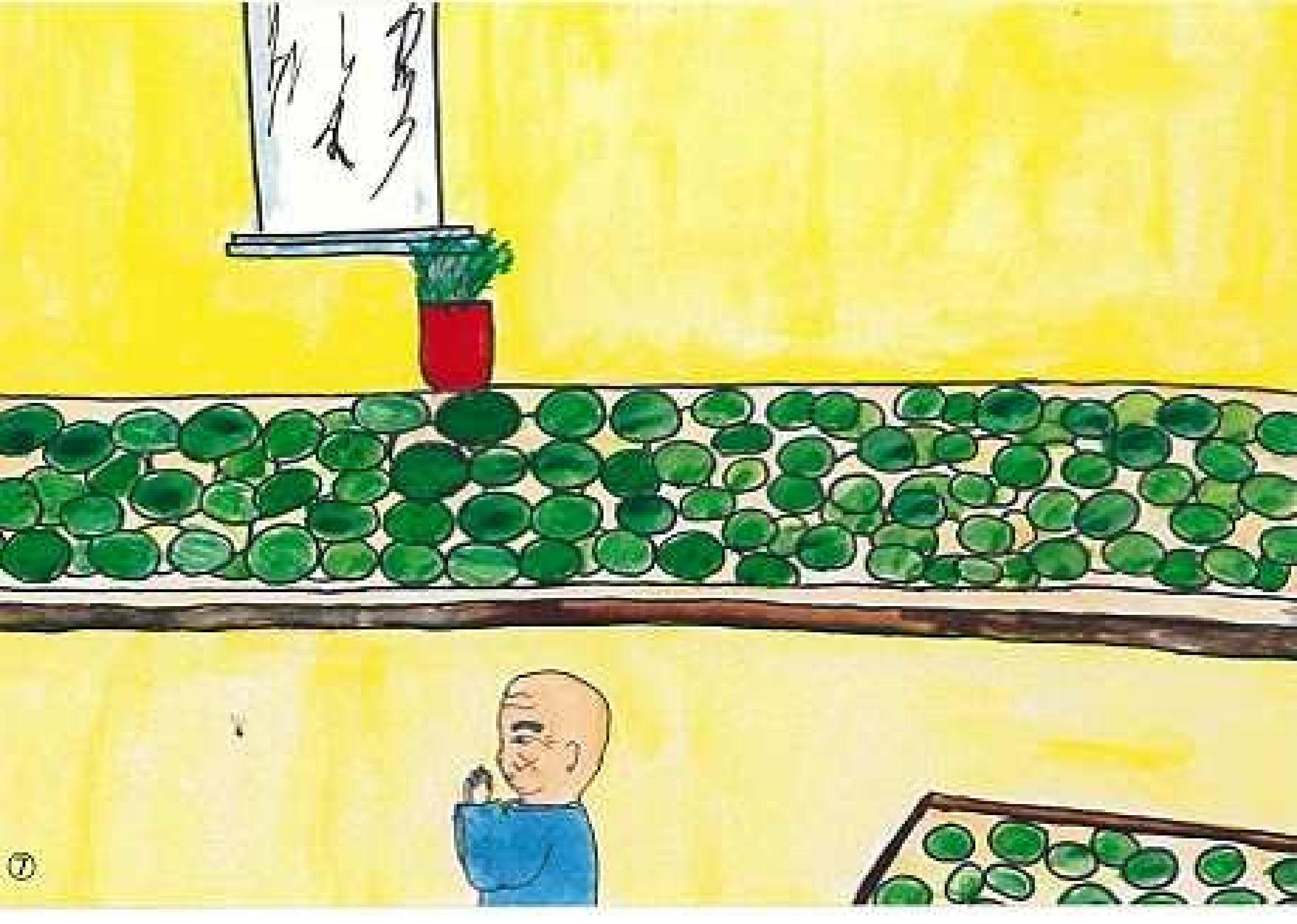


．．． 裏

ナレーター この年は村のほとんどの人が病気になったのでお米を作るための田植えが全くできませんでした

しかし、不思議と瓜^{うり}だけは順調に大きくなっていました。

ですから、お堂には毎日、瓜^{うり}がお供えされました。



Calligraphy scroll with Chinese characters.



．．． 裏

ナレーター ^{どうしょう}道昭さまがお祈りを始めてから二十一日目のことです。

ピカッ！突然、お堂の庭のえのきの^{たいぼく}大木に光が走りました。

道昭 「一体どうしたのだろう。」

ナレーター 不思議に思った^{どうしょう}道昭^{たいぼく}さまが^{ねもと}大木の根元に行ってみると、なんとそこ
に^{てんじん}天神さまの像がおられました。

道昭 「おお、なんと立派な^{てんじん}天神さまであろう。この^{てんじん}天神さまはきっとこの村を救っ
てくださるに違いない。」



・・・ 裏

ナレーター 次の日、道昭どうしょうさまは大切に天神てんじんさまをお堂まつにお祀りしました。

そして、娘さんや村の人々を集め、ゆうべの出来事をみんなに話しました。

道昭どうしょう 「この村は、この天神てんじんさまに救われるでしょう。私がお祈りうりをしている時このころやさしい娘さんは、私の身体を心配して瓜うりを食べさせてくれました。天神てんじんさまにも瓜うりをお供えいたしまししょう。これからも、瓜うりはこの村の皆さんを救ってくれるでしょう。」

ナレーター そういって、道昭どうしょうさまは瓜うりをふたつにポンと割そなってお供えしました。



・・・ 裏

ナレーター この時から、村の病気の人達はあっという間に元気になって、そしてまたみんなが幸せに暮らせるようになりました。

道昭どうしょうさまは、朝廷ちやうていから広い土地をいただき天神てんじんさまを祀るお宮まつを造つくって村の氏神うじがみとしました。

それから、この村は瓜破と呼ばれるようになったということです。

このおはなしは、瓜破の村の歴史を書いた船戸録ふなとろくという古い本をみてつくった紙芝居です。

おしまい。



紙・・・裏

ナレーター みなさん、こんにちは。

さあ、この字はなんと読むかわかりますか。

そう、うりわりと読むのですね。

平野区には瓜破という町がありますが、どうして、そういう名前がついたのでしょうか。

それは、この紙芝居をみてのお楽しみです。